

月刊



平成22年12月1日発行 通巻179号
 昭和40年8月21日第3種郵便物認可
 発行/社団法人 滋賀県建築士会
 〒520-0801
 滋賀県大津市におの浜1-1-18 建設会館 3F
 TEL077-522-1615 / FAX077-523-1602

社団法人 滋賀県建築士会

URL : <http://www.kentikushikai.jp/> mail : shiga-sa@mx.bw.dream.jp

湖国が滋る・水と緑の街づくり

CONTENTS

- ・第31回「近畿建築祭」(滋賀大会) 盛大に開催!! 2
- ・アイ・湖国びとの愛情視線 (第1回) 4
- ・祝・滋賀県立安曇川高等学校 高校生の「建築甲子園」 全国優勝 5
- ・Doシリーズ No.57「自然環境を考慮したライト建築の見学と最新環境対応型W発電の研修」のご案内 6
- ・女性部会『先進地、長浜の再活性化—体験型宿泊施設を味わう』予告
- ・フォトコンテスト作品募集... 7
- ・青年部会35周年記念 研修旅行2011 in 韓国ソウルのご案内
- ・青年部会 家族親睦事業に行ってきました! 8
- ・青年部会 第6回ゴルフコンペ報告
- ・建築関係五団体 合同年賀会のお知らせ 9
- ・支部だより 湖東支部・湖北支部
- ・12月の暦 10
- ・田中みきおさんの中米見聞録 〈第13回〉
- ・滋賀の街道


滋賀の街道
 (第15回)

西近江路「今津」

今津は、西近江路と若狭街道(九里半街道)の分岐点として、また、すぐ南にある木津こうつと共に、資材運搬で賑わった湖上交通の拠点としても栄えた町である。港は現在も今津港として残り、竹生島への定期便の運航が行われている。

さらに古くは三世紀後半の古墳時代の遺跡も残り、その後も近代にいたるまで交通の要衝として栄え、湖西地方の行政の中心地でもあった。

奈良時代には渤海(中国)からの使者がこの街道を通って都へ上り、それは平安時代まで続き、その当時、北陸や若狭に設けられた接待所である客院などと共にこの街道も整備されたことが、『日本三代実録』などに記されています(『今津歴史散歩』による)。

街道沿いの建物は、戦後の高度成長期に多くが建て替えられ、近年にいたって往時の面影を残すものは少なくなりましたが、旅館や湖魚を扱う店などにわずかにうかがうことができる。

第31回「近畿建築祭」(滋賀大会) 盛大に開催!!



秋晴れの11月20日(出米原市・県立文化産業交流会館において、第31回「近畿建築祭」を開催しました。

当日は、近畿各府県建築士会の皆様300余名のご参加をいただき、盛大に挙行し、多くの参加者が「湖国の秋」を堪能され、半年前から諸準備を重ねておりました本県スタッフの労苦も報われた一日でした。

【第1部 オープニング・講演・式典】

当日は交通事情により20分遅れの11時20分に「長浜曳山祭りしゃぎり」の迫力ある太鼓の「オープニング」。

引き続き、長浜城歴史博物館学芸委員の太田浩司氏より記念講演「浅井三姉妹と小谷城」があり、短時間で解りやすいお話は好評でした。

続いて、「式典」に移り、山本会長の挨拶、来賓祝辞などがあり、次回(平成24年度)開催県の奈良県建築士会・福本会長様に「大会旗」を引き継ぎました。来年の全国大会開催地(大阪府)の柳川会長から「全国大会へのお誘い」(PR)があり、無事式典を終了しました。

【第3部「エクスカーション」】

彦根コース

県立文化産業交流会館をマイクロバス2台に分乗し彦根城に向けて出発し、行楽シーズンで心配していた渋滞にも巻き込まれずバスは彦根城場内へ…。表門前にて下車し彦根エクスカーションのスタートとなりました。

まず一行を迎えてくれたのは勇猛果敢な彦根の“井伊の赤備え”として徳川四天王の一雄と恐れられた彦根鉄砲隊を再現した彦根商工会議所青年部古式銃研究会による演舞でした。博物館を出てから拝見する予定でしたが、これにはスタッフもうれしい想定外のサプライズでした。



【第2部「大昼食会」】

会場を移動し、2階の「昼食会場」において、「浅井五穀飯のお弁当」を参加者全員でいただき、「湖国の味」に舌づつみを打たれておりました。

昼食後、「彦根コース」と「湖北コース」に別れての「エクスカーション」に元気に出発していかれました。



屋形船内の様子

演舞の後には、博物館前にて鉄砲隊の猛者たちとの記念撮影もでき、一般の観光客の方も入り乱れての撮影会となりました。

彦根城博物館にて彦根城や井伊家ゆかりの歴史を観ていただいたあとは、2班に分かれ、屋形船にて彦根城のお堀遊覧と彦根城内にある楽々園御所院棟保存整備工事を見学して頂きました。

藩主御好屋形船を復元した船は普段見られない視点からの国宝・彦根城の眺めを殿様の気分にて楽しめ、それはそれは格別なものでした。あまりの優雅さにガイドさんの語りを枕にウトウトしてしまったのは私だけではないはずです。

一方、藩主の下屋敷であった槻御殿、後の名勝 玄宮楽々園御書院棟では見学者からの建築士ならではの質問にも彦根市教育委員会事務局文化財部はじめ各関係者の方々から詳しくご回答いただき、非常に有意義な時間を過ごして頂いたと自負しています。

今回の建築祭は、近畿にとどまらず、遠く香川県建築士会よりも特別に次代を担う青年部の方々の参加もあり、賑やかなエクスカッションだったことをお知らせし報告とさせていただきます。

最後になりましたが、土曜日の作業中にもかかわらず、玄宮楽々園御書院棟見学を快く引き受けてくださった彦根市教育委員会事務局文化財部、財団法人京都伝統建築技術協会 伝統建築研究所ならびに株式会社西澤工務店様、又、彦根城屋形船の運航にご無理を聞いて下さったNPO法人小江戸彦根様、又、公私多忙の中演舞を披露くださった彦根商工会議所青年部古式銃研究会 彦根鉄砲隊様、又、準備から大変お世話になりました彦根エクスカッションスタッフの皆様がこの場を借りまして御礼申し上げます。



玄宮楽々園御書院棟の見学

湖北コース

「近畿建築祭」午後の部は、2011年大河ドラマ「お江の方」ゆかりの「湖北戦国街道めぐり」のコースとして、姉川古戦場、近江孤篷庵そして、浅井歴史民族資料館、小谷城戦国資料館の四会場をめぐる行程を組みました。当日は、秋晴れに恵まれ、素晴らしい季節の中、湖北の代表的な名所、旧跡をわずかではありましたが、肌で感じていただけたものと思います。中でも、近江孤篷庵については、紅葉の始まりとともに、赤や黄色などの美しい色に心なごまれたことと思います。そして、現地での説明をお願いしたご住職様をはじめ、資料館の関係者の方々、また、最初から最後までご案内いただいたボランティアガイドの皆様への心こもった説明に、参加者の方々からも、お褒めのお言葉をいただきました。この湖北に来て良かったと楽しそうな笑顔が頂けたことで、スタッフ一同心より良いおもてなしが出来たかなとほっとしたひとときでした。また、来年は、大河ドラマ「江～姫たちの戦国～」が始まりNHKドラマ館もこの地・湖北で開催されます。是非、もう一度、家族や友人と共においでいただければと思っております。



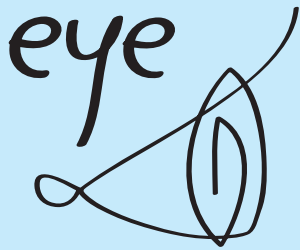
お礼

本大会は、滋賀県建築士会にとって久しぶりの大きな大会であり、近畿建築士会の皆様、湖国・滋賀の良さを知っていただく絶好の機会でありました。

準備会議等を重ね、関係機関等のご協力もいただき、当日は、多くの参加者の皆様に大会を盛り上げていただき、感謝しております。

また、スタッフの皆様にも連日にわたり諸準備やリハーサルなど大変なご労苦をおかけして、本当にありがとうございます。厚くお礼申し上げます。

本大会を契機に、この結集力を原動力として、今後とも滋賀県建築士会発展へのお力添えをお願いし、報告といたします。 第31回「近畿建築祭」実行委員長 大村 修



— アイ・湖国びとの愛情視線 —

第1回 画家 福山 聖子さん

暮らしの見える風景を描いて



ふくやま しょうこ
福山 聖子さん

1964年京都市生まれ、大津市在住。
嵯峨美術短期大学で洋画を学ぶ。
2010年11月、初の画文集「夕げの匂い オレンジ色の空」を出版。

スケッチブックと絵筆を手に湖国の街を歩き、古い街並みを描く画家、福山聖子さん。集落、船着き場、木造の駅、玩具店——モノクロの絵は、なでるようなやさしきで、スーッと心に浸み込んでくる。

「暮らしの見える風景が好きなんです」と言う福山さん。洗濯物が干され、子どもたちの声が響く、そんな日々の息づかいがこぼれる場所に魅力を感じるという。「描く時は、そこに暮らしているような気持ちです」。季節、時間、建物が混じり合っただけ醸し出す雰囲気がある。雨上がりの路地の湿気、夕暮れにほんわり灯った電燈。その空気感までもが描かれた絵は日々の中にやさしい時間があることを気づかせてくれる。

福山さんが県内をスケッチして歩くようになったのは、1994年から朝日新聞滋賀版で挿絵を描くことになったのがきっかけ。最初は古めかしい所にだけ目が行っていたが、足を運ぶにつれ、土地ごとに建物の造りが違うことに気づくようになった。京風の繊細な町家の多い大津、がっちりした構えに見たことも



スケッチをする福山さん

ない屋根がのった湖北の民家など、各地に個性がある。「まるで遠いところに旅行に行ったかのよう。県内なのに暮らしぶりが全く違うこと

に驚きました」。気候、風土にならった建物はその土地の人と文化と歴史を刻みながら叙情的な風景をつくる。石積み、木、土壁など建物に使われた自然素材の多くはその土地のものだろうと思うと不思議な安堵感を覚える。

古い街並みを愛する福山さんは独自の感覚を持っている。「家にも魂が宿ると思うんです。お年寄りの表情に味があるように、風雨に打たれ陽が当たった所は色が変わって、瓦の色も一枚一枚ちがう。そうやって年をとった家には心があって生きてるように見えるんです」。そんな街で出会う人たちはとてもやさしい。「絵のチャンピオンだね」とほめてくれた少年。「お茶を入れたから」と家に招いてくれた女性。初めて行った場所、数時間の滞在なのに第二の故郷ができたような気持ちになる。年齢を重ねた街には人と人を自然に結びつける不思議な力があるようだ。

スケッチに行く場所は事前に情報を得て行くこともあるが、地図を見て「ここ!」と決めることも多いという。細い水路がある場所がアタリだとか。寒い冬、屋外でのスケッチは厳しいが温かな出会いがある。福山さんは今日も電車を乗り継ぎ、第二の故郷を探しに行く。

(取材 M.Y)



「玩具店」草津市草津2丁目にある花火屋さんを描いた作品。

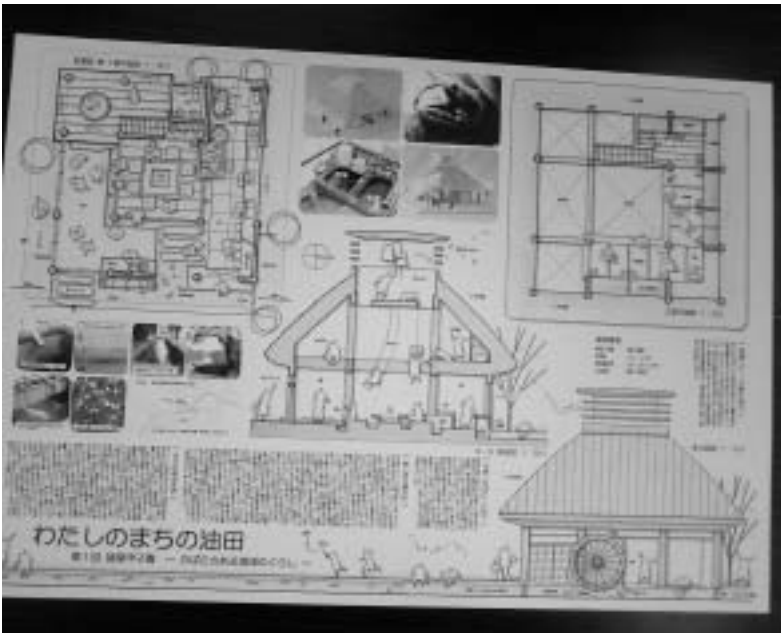
祝

滋賀県立安曇川高等学校

高校生の「建築甲子園」全国優勝

(社)日本建築士会連合会・都道府県建築士会主催の第1回高校生の「建築甲子園」全国選手権大会において、(社)滋賀県建築士会推薦作品がみごと優勝いたしました。

表彰式は、平成22年12月16日(木)に安曇川高校にて執り行われます。



タイトル：「わたしのまちの油田」



県内予選審査

第2回「未来の家」「未来のまち」子ども立体作品展のお知らせ

未来を担う子どもたちの心豊かな感性が、のびのびと育ってくれることを願って、県内の子どもたちの「立体作品」を募集し、その審査を行い、出品作品を一堂に展示することにより、広く県民に「建築」に対する夢と未来志向をアピールします。

また、県内高校生及び建築士会会員の模型および立体作品の展示を併設します。

つきましては、会員の皆様の中に展示いただける作品がございましたら、事務局にご連絡願います。なお、搬入、搬出は各自でお願いいたします。

開催日時 平成23年1月29日(土)～30日(日)
両日とも10:00～17:00

開催場所 イオンモール草津店 2階 イオンホール
草津市新浜町300

応募期間 平成22年12月24日(金)まで

お問合せ 社団法人 滋賀県建築士会 事務局
TEL.077-522-1615
FAX.077-523-1602
メール shiga-sa@mx.bw.dream.jp



第1回 滋賀県知事賞



第1回 (社)滋賀県建築士会会長賞

女性部会主催
「自然環境を考慮したライト建築の見学と
最新環境対応型W発電の研修」



大阪ガス株式会社協賛

ライト建築の見学と大阪ガスショールームにての体験研修を行います。フランク・ロイド・ライト氏設計のヨドコウ迎賓館(旧山邑邸)と愛弟子遠藤新氏設計の甲子園会館(旧甲子園ホテル)を見学します。見学後、大阪ガスショールーム「ディリパ千里」にてW発電(太陽光発電・エネファームについて)の研修をし、最新のガスコンロを使った調理体験を行います。ヨドコウ迎賓館では例年この時期に、旧山邑邸8代目当主山邑太左衛門の発注により、名匠3代目大木平蔵の手掛けた雛人形が特別展示されます。盛沢山の1日をご一緒に過ごしませんか。ご参加をお待ちしています。

- 日 時：平成23年2月26日(土) 8:30集合 8:40出発
- 集合場所：大阪ガス草津ショールーム「ディリパ滋賀」 草津市西大路町5-34 TEL：077-566-0949
- 見学場所：ヨドコウ迎賓館：芦屋市山手町3-10
甲子園会館：西宮市戸崎町1-13 武庫川学園内
大阪ガスショールーム：吹田市千里万博公園1-1
- 募集定員：40名(定員になり次第締め切らせて頂きます)
- 参加費：会員 1,000円 一般 2,000円(昼食含)
- C P D：6単位
- タイムスケジュール

8:30	8:40	10:00~14:30	15:30~17:00	18:40
集合	出発	建物見学と昼食	ディリパ千里にて研修	ディリパ滋賀 到着後解散



ヨドコウ迎賓館 外観



甲子園会館 外観

- 申込方法：FAXで申込みの上、参加費の入金をもって申込受付とさせていただきます。
- 振込先：(社)滋賀県建築士会 郵便振替 口座記号番号 01010-9-21890
※振込手数料は参加者負担でお願い致します。※参加費振込後のキャンセルによる返金はありません。※必ず個人名の記入をお願い致します。
- 申込締切：平成23年1月24日(月)

女性部会 ライト建築の見学と大阪ガスショールーム体験研修 2.26(土)

会員/会員外	お名前	連絡先 TEL (当日連絡用)
会員・会員外		
会員・会員外		

お申し込みはFAXにて・・・(社)滋賀県建築士会 事務局<FAX.077-523-1602> (お問い合わせは... TEL.077-522-1615)

女性部会

『先進地、長浜の再活性化—体験型宿泊施設を味わう』
—町屋修復再生その後体験および新年会開催のお知らせ—《湖北支部協賛》

長浜市中心市街地再生事業計画2009に基づく「町屋修復再生」の実例である、長浜市の「季の雲ゲストハウス・季(TOKI)」にステイ(宿泊体験)しながら、みんなで語り合おうという企画を考えました。

大津や南の方での事業には、遠くてなかなか参加できないとおっしゃる高島や彦根、湖北の方にも、参加しやすい機会となればと考えています。詳しくは、月刊「家」1月号にてご案内いたします。

- ◆ 開催日：平成23年1月22日(土)~23日(日)
- ◆ 開催時間：(1) 講演 22日(土) 18:30~19:30
「町屋再生 季の雲について」
(株)材光工務店 取締役社長 伊藤光男氏
- ◆ 開催場所：季の雲ゲストハウス・ステイ・季(TOKI)
長浜市元浜町14-21
- ◆ 参加費：15,000円(22日~23日 講演会・宿泊・新年会参加)
5,000円(22日 講演会・新年会のみ参加)
当日徴収します。
- (2) 講演後、新年会

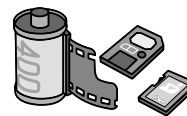


フォトコンテスト作品募集

(社)滋賀県建築士会では、フォトコンテストを開催いたします。今年のテーマは1部「フリー」、2部「動物」で募集いたします。

昨今、動物たちが住みにくい環境になっている報道が多くなされております。身近なペットたちも含めた動物たちをもう一度フォトを通じて見つめていただきたいと思います。

会員のみなさまの自慢の作品をお待ちしております。



作品のテーマ

1部 「フリー」 (風景・建物などテーマは問いません)

2部 「動物」

※詳細は11月号をご覧ください。

青年部会35周年記念

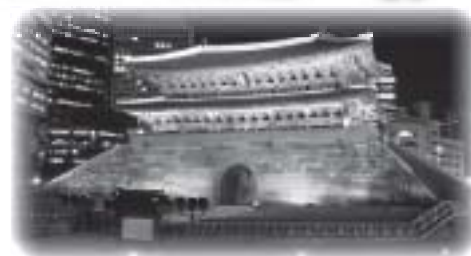
研修旅行2011 in 韓国ソウルのご案内

今年度は海外、Koreaにみんなで行こ〜リア

韓国の、建築・食・買・遊を満喫しましょう！

今年度の研修旅行は、韓国ソウルです。ソウルで世界的建築家による現代建築物を見学し学びます。また、現在復元中である韓国の国宝第1号に指定されている南大門（崇礼門）を見学します。

その他、ショッピングあり、遊びあり楽しい事が盛り沢山です。皆様のご参加をお待ちしております。



火災前の南大門（崇礼門）

日程 (予定)	平成23年 2月18日(金)~20日(日)
行き先	韓国ソウル近辺(東大門デザインパーク&パーク、ソウル大学美術館、梨花女子大学他)
参加費	会員/70,000円 ご家族/80,000円
締め切り	平成22年12月25日(土) ※ただし、定員になり次第締め切ります。参加者には後日詳細をお送りします。

ソウルの豆知識

3. 韓国の文化編

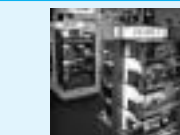
1) 食



韓国と言えば、キムチ・韓国のり。ソウルにあるハナロマーケット(韓国の農協の直営店、大型スーパーマーケット)は、美味しいキムチ・のりが格安で売っています。免税店で購入するよりも格段に安く、味も少し辛い目です。大量に買って、びっくりする値段です。(一回しか行ったことありませんが……)

たしか24時間営業?

2) 買



女性の方には、研修旅行の中でも楽しみの一つだと思います。2日目の研修途中に免税店にも立ち寄ります。(そんなに時間はありませんが……)

3) 遊



韓国カジノと言えば、ウォーカーヒル。高級ホテル:「シェラトン・グランデ・ウォーカーヒルソウル」内にあります。ちなみに私は行った事はありませんが、ギャンブル好きの方はぜひ一度行って一儲けしてください。(私もギャンブルは好きですが……)

韓国内の情勢により中止になる場合がございます。ご了承ください。

※詳細は11月号をご覧ください。

10月30日(土)季節はずれの台風の接近で天候も危ぶまれましたが、家族親睦旅行に行ってきました。当日は皆さんの普段の行いがよかったのか何とか雨も降らず、ウッディパル余呉にてアスレチックやパターゴルフ、木のプールなどで自然とふれあいました。お昼は現地でバーベキューを堪能し、その後、長浜の黒壁周辺の古い建物や観光地となった町並みを散策してきました。肌寒い一日となりましたが、家族や会員にとってあたたかい一時を過ごしていただけたと思います。

参加して下さった会員の皆様、ご家族の皆様大変ありがとうございました。



参加者全員の記念写真



会員家族が交流した昼食バーベキュー

11月11日秋晴れの日。甲賀カントリー倶楽部にて、青年部会第6回ゴルフコンペを参加者24名で開催致しました。

気候も良く素晴らしい景色の中、プレーを楽しんで頂きました！

プレー後の懇親会では、成績発表で大変盛り上がり少しの時間でしたが交流の場として親睦を深めて頂きました。

次回の開催は？とお声も頂き、大変有意義な楽しいコンペとなりました。

なお、優勝は、小倉善紘様でした。おめでとうございます！

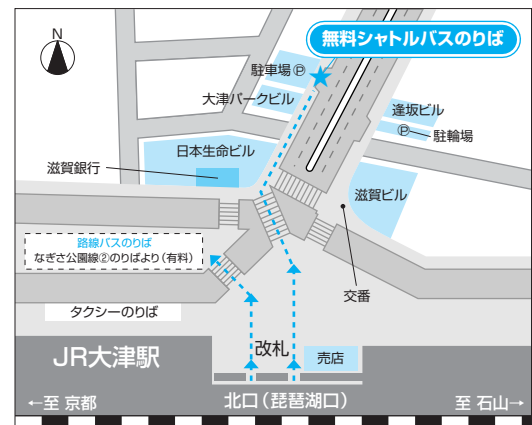
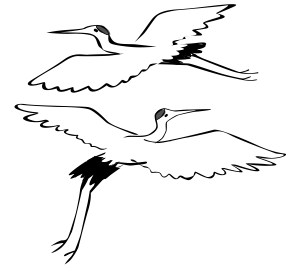




建築関係五団体合同年賀会のお知らせ

例年恒例となっております、《平成23年 新春の集い》を建築関係団体と合同で開催いたします。ぜひご出席くださいますようお願い申し上げます。

- 開催日：平成23年1月14日(金)
- 場所：大津プリンスホテル コンベンションホール「淡海」
大津市におの浜4-7-7 TEL.077-521-1111
- 受付：15:30～
- 年賀会：16:00～
- 会費：5,000円
- 交通手段：大津駅前よりホテルのバスをご用意しております。
ご利用下さい。
大津駅日本生命ビル（琵琶湖側へ50m先）発
①15:15 ②15:30（シャトル便）
- 申込方法：同封のはがきをご出席いただけるかたのみご投函下さい。一事務所もしくは一事業所から何名ご出席していただいてもかまいませんが、必ずご出席くださいます方全員のお名前をご記入下さい。
- 申込締切：平成22年12月22日(水)
- 共催：(社)滋賀県建築士会、(社)滋賀県建築士事務所協会、
(社)滋賀県建築設計家協会、(社)日本建築家協会近畿支部滋賀地域会、滋賀県建築設計監理事業協同組合



支部だより

湖東支部

講習会報告

湖東支部では、「建築士の品位の向上」の一環として技術研修を行いました。内容につきましては、現在、近江八幡で、「近江八幡市立金田小学校校舎立替工事」を施工されています戸田建設(株)様にご協力いただき、建設中の現場を見学し、工事の概要の説明をしていただきました。最近では不景気続きの世の中で大規模な現場も身近では非常に少なくなり、良いチャンスを生かせたと思います。今回は、近江八幡市内の学生にも案内をし、参加していただき非常に良い勉強と経験になったと思います。又、建築士会のPRになった事と思います。今後の技術研修の開催において、可能な限り現役の学生にも声をかけてあげたいと思います。



湖北支部

大通寺台所門修復工事見学会

日時：平成22年11月29日(月) 13:30～15:00

場所：滋賀県長浜市 大通寺

平成22年度湖北支部研修見学会を11月29日に開催しました。今年度は、長浜市指定有形文化財の大通寺台所門保存修理の見学をしました。

当日は、長浜市教育総務課文化財保護センターの二宮氏と工事施工業者、橋本工務店の橋本専務様に説明をして頂きました。

台所門は、建築年代は天正15年(1588年)で切妻造、本瓦葺、三間一戸葉井門です。

今回の修復は部材をすべて取り外して修理して、再び組み立てる工事です。

今回の見学は、小屋組みの状態でも骨組・架構など間近で見られ大変貴重な体験ができました。また、その後以前修復工事の見学をさせて頂いた長浜市指定有形文化財の大通寺太鼓楼保存修理完成の見学もおこないとても充実した見学会でした。



12月の暦

1	水	大安		10	金	先負	・四役会 ・評議員会	・理事会 ・OB懇親会	21	火	友引	
2	木	赤口	構築・連携特別委員会						22	水	先負	
3	金	先勝	・平成22年度第3期定期講習 ・青年部会運営委員会 ・女性部会役員会	11	土	仏滅			23	木	仏滅	天皇誕生日
				12	日	大安			24	金	大安	
				13	月	赤口			25	土	赤口	
4	土	友引		14	火	先勝			26	日	先勝	
5	日	先負		15	水	友引			27	月	友引	
6	月	大安	二級・木造建築士新規登録 集中受付(10日まで)	16	木	先負			28	火	先負	
				17	金	仏滅			29	水	仏滅	事務局年末・年始休暇 (1月3日まで)
7	火	赤口		18	土	大安			30	木	大安	
8	水	先勝		19	日	赤口			31	金	赤口	
9	木	友引		20	月	先勝						

ドミニカ通信

田中みきおさんの中米見聞録

第13回

米 arroz を良く食べるドミニカ人

この国は最初ミニアメリカだと思った。洋風のしつらえと西洋人化した風土に建物。人々は、黒人、モレノmoreno(混血で肌の色も濃い黒から白人に近い白っぽいもの)、そして白人と、日本では考えられないくらいに多種多様である。さらに背の高い人から低い人まで、また太った人からやせた人まで本当にさまざまである。アメリカの人種のもつぽがそのままあてはまるように感じたのである。しかしここは一様に表現するならラテンアメリカである。

当然パン食が主食かと思いきや、さにあらずであった。彼らは良くコメを食べるのである。こちらの定番は、ご飯に肉に野菜である。ご飯は油と塩を入れて炊いたもので日本のご飯とよく似ているが少し異なっている。そして大きく異なるのはその上に豆の汁をかけるのである。豆汁かけごはんともいうのだろうか。また、白いご飯以外には炊き込みご飯風から焼き飯風の物もある。とにかく良く米を食べる。

他によく出てくる定番は、肉、野菜にプラタノ platano である。このプラタノは食用バナナを油で揚げたものでちょうどサツマイモのような味がしてとっても肉や野菜に合うのである。私は良く食べた。



白いご飯に豆の汁、野菜、肉の定番である。



混ぜご飯、野菜、肉、これも定番である。



プラタノ、野菜、肉、そしてコーラである。私の昼食の定番だ。

滋賀の街道

今津は、「琵琶湖周航の歌」が作詞者である小口太郎によって初めて披露された場所とされ、今津港の棧橋脇には「琵琶湖周航の歌記念碑」が建てられ、そこからは遠く竹生島を望むことができる。また、港から駅に向かうとすぐ右手には、「琵琶湖周航の歌資料館」があり、作者や歌の誕生秘話などが紹介されている。

今津港と木津の間や、さらに北に向かう北仰（きとげ）付近には今も松並木が残り、当時の賑わいを思い起こさせてくれる。



松並木

街道周辺

琵琶湖周航の歌記念碑

